

濱松市民諸君に懇ふ

賢明なる濱松市民諸君！

諸君は我が樂器會社に於ける罷業勃發、四月廿六日以來今日まで、斯の事件が及ぼせる種々なる影響の爲に、それより多大の御迷惑を蒙つて居られる事と察いたされます。吾社は此事を思ふ時、實に社長を始め一同恐縮に堪へざる次第であります。

然し乍ら賢明なる諸君！吾社がこの争議に處して强硬今日に至り、

向後は此の強硬態度を持して進まんとする所以のものは、決して放縦不定見に出づるものでは無く、左の二大理由に基くものであります。

その一つは、濱松市に於ける一事業經營者としての立場に於いて見る理由であり、他の一つは、國民的集團としての國家的觀念に基く理由であります。

賢明なる濱松市民諸君！

會社に取つて争議延引の苦痛不利なる事は、諸君の賢明よく之を了知せらるゝでありませう。争議が一日早く片附けば一日の利益あり、一日未引けば一日の損失あり、會社として解決の速進を冀ふ事は萬々であります。而も此事たるや單に會社に取つて有利幸福なるのみならず、罷業員諸子に取つても亦明かに有利幸福なのであります。今や一ヶ月に亘るとする斯の罷業に於いて、一千餘名の争議員諸子が、衷心如何なる不安に悩まされつゝあるべきかは、第三者と雖も略ば推測に難からざる處であります。罷業員諸子の復歸は日一日と當じつゝあるにも拘はらず、無謀にも大衆を誘惑して此舉に出でしめたる「評議會」の兇暴に阻止せられたる諸子は復歸し得するに居るのであります。期して會社及び罷業員大衆の兩者に取つて苦痛不利なる「解決の延期」が、はてしなく繼續する一大遺憾に遭遇遂に居るに外なりませぬ。

勿論、吾社にして若し前述の二大理由を無視して、單に吾社一個の眼先に躊躇する求安的観念と、營利打算の私的功利心とのみを専らとして望むならば、事件は直ちに解決するのであります。而して從來世間多くの營利會社は、そうした普通の觀念に立脚する普通の立場から、只管解決を是れ急ぎ世人又敢て之を怪しまつたのであります。吾社は断じて之を避け、以て我が「工業市」たる濱松の爲め及び危急なる國家の爲めに、聊か卒先の貢献を致したいとの所信から、今日ある所以であります。

賢明なる濱松市民諸君！

諸君は果して「評議會」なるものゝ正體を御存じでありますか？この評議會の組成分子が如何なるものであるかを察知されるであります。吾社は、彼等は畢竟に共産黨隠謀事件の爲に政府に檢舉された赤露系過激社會主義者等を中堅とし、次いで無産政黨組成分子に介在して排斥された闘士の一味が牛耳を取る處の、頗る非國家的危險なる革命的隠謀團であります。吾社が今回この争議に對して苦痛不利を忍び、對戦強硬敢て譲らないのは、要するに罷業の根本者、指導者として這の「評議會」が策動し跋扈するが爲に外なりませぬ。彼等は個々の労働爭議を以て、國家革命の現行演習を爲すもので、現に今回もこの見地

からして労働者を煽動し、罷業員を訓練しつゝあるのであります。吾社が罷業員諸子に對して只管「評議會」と手を切れ、然らざれば斷じて交渉に應ぜぬ」云々を繰返して止まないのは、畢竟するに彼等不逞の徒（評議會）をして苟も一利半勝を得せしめざらしめんが爲であります。

第一、謂ゆる「工業市」たる我が濱松に於いて、謂ゆる三大會社の一と稱せらるゝ我が樂器會社にして若し彼等の兇暴に跋扈せらるゝの解決結果を招いたならば、延わてその及ぶ所果して如何なる影響があるにあらずか？曩に総機會社に於ける争議解決が、その張本たる評議會をして勝利を得しめたる結果、今回吾社の事件に影響を及ぼせる跡の歴然たる如く、吾社の此の争議解決の如何は亦直ちに他會社に影響すべき事、火を喰るよりも炳かであります。吾社が一營利會社としての私的功利觀を離れて事に當り、この評議會の策動と跋扈とを排除し、眞に會社と職工諸君との相互遺憾なき解決を告ぐるならば、之が頗る他會社一般の典型となり、延わてはそれが工業市濱松の市民諸君全般的の幸福に資するものである事を信じて疑はないのであります。

第二、會社對職工の労働爭議と國家革命の豫行演習に利用すべく要策妄動に餘念なき共產主義「評議會」は、關東北一帶及び大阪地方に於いては既に自覺たる國民の敵視糾弾する處となり、近來其の主力を關西方面に傾注し、暗中摸索を試みつゝありました。此時に當つて過般の総機會社に於ける一争議解決は、彼等をして濱松の資本家くみし易し、労働者御し易し、市民あざむき易しとの觀念を抱かしめ、この濱松を主要策源地として將來の全國的飛躍を企圖すべく決心せしめのでありました。故に吾社が吾社の苦痛不利な犠牲として、彼等と戰ふ事は、單に前記の「工業市濱松」の爲に、一工業會社として貢獻する結果となるのみならず、今や險惡なる世相に包まれて累卵の危きに向ひつゝある今日の我が日本國家に對しても亦大に貢獻する結果となるのである事を確信いたします。

賢明なる濱松市民諸君！

吾社は既に苦痛を忍び不利を犠牲にして居るのであります。更に彼等に誘惑されて罷業團中に在る職工諸子も亦た無意識裡に犠牲を拂ひつゝあるのであります。而して市民諸君に至つては斯の争議の影響を蒙り、尙からざる御迷惑を感じて居られる次第であります。然し乍ら諸君！既に前述の内容に依つて會得されたであらうやうに、この迷惑、この犠牲は、小にしては我が濱松市、大にしては日本國家に對する會社、職工、及び市民諸君の、共同使命を帯びる共同苦痛、共同犠牲に外なりません。以上は吾社の率直に披瀝する衷情でありまして、吾社は斯かる理由と信念とに基く猶は斷々乎として進んでするものであります。

日本樂器製造株式會社

大正十五年五月廿三日